SUNSHINE

第45号　2010年　1月発行
有限会社　太陽開発
鹿児島市荒田2丁目43-19　TEL099-255-3623
E-Mail　master91@taiyou1991. com

太陽開発　検索　クリック!!

賃貸マンション（オーナー様）をご紹介します！

オーナー　医療法人藤和会

最近、新聞やテレビで"適合高齢者専用賃貸住宅"という言葉を耳にすることが多いと思いますが、鹿児島でも新しい賃貸住宅として注目を集めています。昨年の8月に鹿児島市の新照院町にも新たに誕生しました。

医療改正に伴って充分なリハビリを受けられない方が増えてきており、そんなニーズに応えるために考えられた住宅です。

"ウィステリア新上橋"は、医療法人藤和会の米沢病院様が建設した住宅で、このマンションの特徴は、1階に訪問看護ステーションを設けており、病院スタッフがいつでもかけつける事ができるということです。各部屋には緊急コールも備えてあり緊急時も迅速な対応が可能となっています。また希望者の方には一日３食の配食のサービス（治療食も可）もありますので、入居者にとって大変ありがたいことと思います。もっと、安心して、気軽にリハビリを受けてもらいたいという思いで建てられたマンションです。米沢病院には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などリハビリのスペシャリストのスタッフのもと充実したカリキュラムが行なわれています.

ウィステリアは英語で"藤の花"、花言葉は至福のときです。今回取材に快く応じてくださった米沢病院のスタッフの方々に大変感謝しています。

ウィステリア新上橋

1月8日、福岡でﾃﾚﾋﾞでお馴染みの"北原照久氏"の講演を聞いてきました。以前、この誌面でご紹介したことがありますが、新年をｽﾀｰﾄするにあたって、非常に前向きな内容ですので、再度ご紹介します。

講演の内容は夢実現への法則です。その中でツキの十ｶ条というのがあります。まずは

①ﾌﾟﾗｽ思考…ﾌﾟﾗｽ思考はﾄﾚｰﾆﾝｸﾞすることにより、自分に降りかかるﾏｲﾅｽをﾌﾟﾗｽに転化できるようにする
②勉強好き…勉強好きの人にはいろいろな情報がどんどん入ってきます
③素直…素直な人は、たくさんの人からいろいろな教えを受けることができます
④関心…いろいろな事に興味を持つこと
⑤感動…楽しい、面白い、おいしいということを素直に表現すること
⑥感謝…感謝を言葉で表現すること
⑦ツイている人と付き合う…ツイている人は常に前向きです
⑧親孝行…先祖、親を大事にすることによって、見えない力がいい方向に導いてくれる
⑨褒めること…他人を褒めることにより、他人が気持ちよくなり、褒めた自分も楽しくなる
⑩自分はツイていると思うこと…言葉には力がありますから、絶えずどこでも「自分はツイているから大丈夫」と繰り返し唱えること

以上の内容でした。

今回の講演で、最も共感できたのは「自分の夢を熱く、情熱的に、楽しそうに、たくさんの人に語ることだ」ということです。夢は絶対に一人では実現できないということ、必ず誰かの力を借りなくてはいけない。ではどうやって力を貸してくれる人を見つけるのか。それは、熱く夢を語ることだそうです。言葉には絶対的な力があります。私の回りでも、成功している人には、みんな共通点があると思います。それは、明るく、積極的に自分の夢を語れる人です。

紅葉 & 粋　オーナー新潟　哲雄　様

今年の４月に５周年を迎える「紅葉」さんと、

旬彩dining～紅葉～

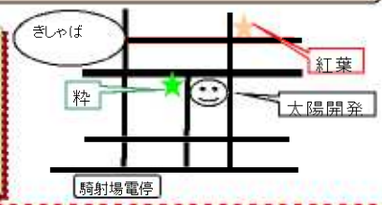
５周年を迎える紅葉さん。「イタリアン」を中心としたお料理（パスタ・リゾット・ピッツァなど）や、オーナー様が考えて作られた手の込んだ創作料理があります。又、手作りのケーキも絶品（おいしいですよ～）！！
楽天のインターネットサイトでケーキの通信販売もされていらっしゃいます。現在ホームページを新たに作成中です。
遠方（東京）などから、ご注文されるお客様が多いそうですよ～！！おいしい食べ物に距離なんか関係ないのでしょうね～／
サンシャインをご覧の皆様も一度食べてみて下さい

（オススメの料理）若鶏のコンフィ赤ワインソース

http://m.rakuten.co.jp/kashi-momiji/

モバイル版

～紅葉・粋～
2時間コース
8品　飲み放題
￥2.800
ご予約の際は事前に1本



syusou～粋～

紅葉の姉妹店としてOPENしました。
「和」を中心とした天ぷら料理などがあります。ただ揚げるだけではなく、チーズ.オリーブオイル.香辛料なども一緒に揚げる調理法をなさっているので、一味違うおいしさを味わうことができます！！
最近では塩もつ鍋が人気です。
お店の表に貼ってある塩もつ鍋の張り紙を見て入店される方も多いそうですよ。また、大きなカウンターを中心にお店の中もオシャレで、落ち着いて食事を楽しめること間違いなしだと思います。
ぜひ一度足を運んでみて下さい。

（オススメの料理）塩もつ鍋

今月の一冊　旅をする木　其の44

広大な大地と海に囲まれ、正確に季節がめぐるアラスカ。1978年に初めて降り立った時から、その美しくも厳しい自然と動物たちの生き様を写真に撮る日々。その中で出会ったアラスカ先住民族の人々や開拓時代にやってきた白人たちの生と死が隣り合わせの生活を、静かで

星野道夫

1952年千葉県生まれ。慶応大学経済学部卒業。アラスカ大学野生動物管理学部に留学。以後、アラスカを生活の基盤にして撮影・執筆活動をする。

この本との出合いは昨年9月。私の好きなﾗｼﾞｵ番組『ﾒﾛﾃﾞｨｱｽﾗﾌﾞﾗﾘｰ』（FM日曜10:00AM）で紹介されたのです。その日はちょうど主人の誕生日で、これからﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄを買いに行こうとしていたところ、『旅をする木』の作者、星野道夫氏のお誕生日も同じ日だと言うではありませんか。ご縁を感じて、さっそく『旅をする木』とアラスカの写真集『LOVEinAlaska』をﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄすることにしました。
偶然出合った作品ですが、これが実に味のあるいい作品なんだなあ。写真集も美しく、主人にも気に入ってもらえたので、良いﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄになりました。
ただ悲しいことに、ひとまわりも変わらない星野氏は、もうこの世にはいらっしゃいません。『旅をする木』の出版一年後の'96年の夏、TBSﾃﾚﾋﾞ番組『どうぶつ奇想天外』取材のため滞在していたﾛｼｱのｶﾑｯﾁｬｯｶ半島南部のｸﾘﾙ湖畔に設営したﾃﾝﾄでﾋｸﾞﾏの襲撃に遭い、死去。享年43歳の若さでした。
『旅をする木』の解説をされた池澤夏樹氏が「いささか私的すぎる解説」の中で書かれているように、私達はどうしても星野氏の死を考えながらこの作品に接し、そこに何かしら意味を見出そうとしてしまいます。大自然の中にあっては、動物も人間も植物の死も、自然の営みのひとつであるとの星野氏のﾒｯｾｰｼﾞ、若くして山岳事故で亡くなった友人への